

第46回千葉県消費者大会 開催報告



日 時：2022年2月16日（水）9：45～11：45

開催方法：千葉県生協連会議室 Zoomを活用したWeb会議

参加者：ライブ配信 57回視聴 アーカイブ配信 164回視聴 計 231回視聴

開催テーマ：「止めよう！地球温暖化 - 私たちの行動が暮らしを守る -」

概要：

2022年2月16日に、第46回千葉県消費者大会（主催：消費者団体千葉県連絡会、後援：千葉県）をオンラインで開催しました。2年ぶりの実開催を予定していましたが、感染症の影響から今回もYouTubeによるライブ、アーカイブ配信となりました。

今回は、「止めよう！地球温暖化 - 私たちの行動が暮らしを守る -」と題し、地球温暖化防止のために私たち消費者はどのように行動すべきか学ぶことを目的に開催しました。



左：阿部京子代表幹事

右（司会）：石塚俊彦代表幹事



主催者である消費者団体千葉県連絡会 阿部^{けいこ}京子代表幹事の開会挨拶のあと、第一部の講師である一般社団法人 Climate Integrate 代表理事平田仁子さんにご講演いただきました。平田さんは千葉縣市川市在住、環境のノーベル賞といわれている2021年度ゴールドマン環境賞を日本人女性で初めて受賞された方です。千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授でもいらっしゃいます。

○ 第一部

講師：平田仁子さん 暮らしの中の地球温暖化とは？「暮らし」は世界の危機と繋がっている

一般社団法人 Climate Integrate 代表理事 平田^{きみこ}仁子さん

平田さんは「今は気候変動の改善のチャンスとその難しさが混在していて、楽観はできません。これからこの変化がどう本格的なうねりとなっていくのか、多くの人達の参加と行動が必要です」と前置きされ講演は始まりました。

◆初めに、現在の最新情報と危機が迫る現状について説明いただきました。「現在は工業化が始まった頃の平均気温からすでに1.1℃上昇しており最悪な状況です。COP26では、平均気温が上昇すると自然災害が倍増するという科学的知見からパリ協定で認めた目標の2℃を1.5℃に下げ、クリーン電力普及の加速と石炭火力削減・化石燃料補助金廃止を確認するなど相当踏み込んだ内容が確認されましたが、石炭火力発電の廃止には至りませんでした。そのような状況でも、2030年までに世界136か国が温室効果ガス排出0を約束し、そこに中国・インドが入るといった今までと異なる流れが生まれています。これは各国市民の脱炭素が必要だという考え方の潮流や経済の在り方が変化してきたことによる大切な流れだと思います」と述べられました。しかし状況は厳しく、気温上昇を1.5℃に抑えるためにはCO2をあと全世界で上限まで8%しか排出できない現状がある、達成するには脱化石燃料しかなく、大胆な社会変革を早くおこなう必要があると話されました。日本では最大

の排出源である石炭火力発電を今も建設し続けており社会の在り方やエネルギー・経済の構造を変えていかないと脱炭素に向かわない、私たち市民の省エネだけでは難しく石炭や天然ガスから他のエネルギーに移行していかないと解決できない、と話されました。

◆これから私たちはどのように行動すればよいのか、「まずは科学に基づくこと、変化の只中にある今の私たちの課題に向き合うこと、それと同時並行的に弱い立場にある人への支援をすすめること、また私たちが暮らしたい未来のために脱炭素の活動に参加や対話を続けることが大切」とのことでした。そのために、工場や施設では最終エネルギー消費を2030年に40%削減すること、個人は工夫した節電や需要管理で2030年に20%削減をめざすが我慢する必要はないこと、使用する電気は再生可能エネルギー電力とし石炭火力・原発・石油火力は使わないなど「これまでのコツコツとした省エネでなく今はダイナミックな変化が必要です」と述べられました。

◆そして「脱炭素の地域づくりの広がり」に向けて「問題を自分事に」することとし「学ぶことも大切です。これだけの時間をかけてもまだ温暖化の危機が共有されていない。学びから気が付いた人から行動を起こすことが大切になってきます。行動に『目標』と『計画』を設定すること、また自分だけでやりきれなければすでに行動する人を応援する、電力会社などへ要請することや投資や資産運用などで脱炭素に取り組む企業へ応援するなど広い目で行動してもよいでしょう。また一人から飛び出して、地域や学校、趣味のサークルなどどのような仲間でもよいので、目の届くところで一步踏み超えたところで楽しく広げてもらうとよいと思います。『もう見て見ぬふりをしない』という人が増えることが大きな変化の力となります。」と結ばれました。

◆最後に「千葉は沿岸に鉄工所や発電施設など工業地帯がありません。働く人も地域の住民です。企業の問題にとどめず、私たちが暮らしたい街はどのような街なのか、地域としてどのように脱炭素に転換していけばよいのか、対話の機会を作って企業と一緒に考えてはどうでしょうか」とアドバイスをいただきました。

一人ひとり行動する決意と覚悟を

Global Optimism · The Future We Choose

悲観ではなく
未来は変えられるという楽観を

必要なことを実践しよう
古い世界は捨て去ろう
信念に向き合い将来のビジョンを持つ
真実を貫こう
消費者ではなく市民として自分を見よう
化石燃料の先へ動こう
クリーン経済に投資しよう
技術の明利に責任を持つ
ジェンダー平等を築こう
政治に関与しよう

○第二部 千葉県の地球温暖化対策に係る取組について

千葉県環境生活部循環型社会推進課 温暖化対策推進班

主査 龍頭^{りゅうとう} 克典^{くつ典}さん



講師：龍頭克典さん

龍頭さんからは、地球温暖化対策に係る県の動向と、千葉県地球温暖化対策実行計画、千葉県気候変動適応計画、また、それに伴う様々な施策についてご説明いただきました。令和4年度には「温暖化対策推進課」を新設し積極的に取り組みを広げることや、新年度からの温暖化対策への新たな取り組みはホームページで公表・案内されることなど、紹介されました。

地球温暖化対策のための取組について
御意見・御質問等がありましたら以下にお問い合わせください。

千葉県 環境生活部 循環型社会推進課 温暖化対策推進班
☎043-223-4645

COOL CHOICE

未来のために、いま選ぼう。

(文責：事務局)